

【第二部 ミニラウンドテーブル】プログラム

「あなたの葛藤や工夫が、次の現場をつくるヒントになる。」

看護と介護の日本語教育実践者によるミニラウンドテーブル形式の報告セッションです。

■第二部	14:55—15:00	趣旨説明、参加方法の説明
	15:00—16:00	ミニラウンドテーブル実施

【話題提供①】上田 潤子 氏

早稲田大学日本語教育研究センター

「自立（自律）した学習者になるためにどんな支援が必要か 一技能実習生から介護福祉士へ」

話題提供者は技能実習生として精肉工場で働いていたカンボジア人 A さんが、特定技能「介護」の資格を取得するまでの学習支援と手続きをサポートし、現在は国家資格取得を目指し、継続的な学習支援を実施しています。労働者であり学習者でもある A さんへのインタビューを通して、自立（自律）した学習者を育てる支援のあり方を考えます。

【話題提供③】滝本 裕弥 氏

大田区福祉部福祉管理課

大田区における
「介護の日本語講座」の取組について

大田区では令和元年度より、外国人介護従事者や介護に関心のある区内在住外国人を対象に「介護の日本語講座」を実施しています。国籍や年齢、滞在年数の異なる参加者が現場の日本語や日本文化を共に学んでいます。今回はこれまでの取組成果をご報告するとともに今後の事業をより有効なものへ発展させるため、参加者の皆様と意見交換を行います。

【話題提供②】相葉 康子 氏

いばらき中央福祉専門学校 日本語教師

「どう支援する？外国人材の現場の日本語と国家試験の学習支援について語ろう！」

外国人材の学習支援について、どう取り組まれていますか？日本語教師・介護福祉士の2つの視点から、EPA 候補者、技能実習生、特定技能、留学生それぞれの学習環境と学習支援の取り組みや課題について共有し、限りある時間を何にどう使って支援できるのか、皆様と意見交換をしたいと思います。

■発表は30分程度で、その後、ラウンドテーブルの参加者とディスカッションを行います。

■3つのテーブルの中から、当日どれか1つを選んで参加してください。